

エイシンワシントン



1991年5月5日生 牡 鹿毛
父:Ogygian
母:Shamaritan(母の父:Sham)
米・Mr. & Mrs.Shannon A.Wolfram & Fred J. Seitz生産
調教師:内藤繁春(栗東)
馬主:平井豊光氏

「1センチ」に泣いた 韋駄天



新馬戦のレコード勝ちで早くも豊かなスピードを見せつけたエイシンワシントンだったが、その後の戦績からは、単純に速いだけの馬ではなかったことがわかる。

2勝目をあげた萌黄賞は稍重馬場で10馬身差の圧勝。単勝1.0倍の断然人気に推されたシリウスステークスでは、プレッシャーなど感じさせぬ悠々の逃走劇で2着馬を6馬身突き放し、1分07秒9のコースレコードタイをマークした。淀短距離ステークスでは58.5^{キロ}のトップハンを背負いながらレコードタイムを叩き出すと、陽春ステークスで59^{キロ}も克服。また、アーリントンカップは2着、洛陽ステークスが1着、読売マイラーズカップはタイム差なしの3着に踏ん張り、マイルチャンピオンシップではジェニユインに交わされてからも懸命に食い下がって3着を死守と、マイル以上の距離でもたびたび粘りを披露している。

さながら、スピードとパワー、タフネスと強いメンタルの集積体。低い姿勢でロケットのごとくゲートから飛び出す。先頭に立ってもペースを緩めて後続に楽をさせることなどない。力強く大きなストライドで高速ラップを刻み、ゴールまでまっしぐら。エイシンワシントンの走りには、短距離の逃げ馬の醍醐味が詰まっていた。

そんな特性を遺憾なく発揮して、重賞タイトルもふたつ獲得。セントウルステークスでは、トシノトレンディー、コンコルドホーラー、ユウキトップランといったスピード自慢を難なく競り落とし、僚友ダンシングサーパスの追い込みも完封。マイルチャンピオンシップからの連闘で臨んだCBC賞では、前半3^{クォーター}を32秒9というハイペースで飛ばし、そのままフラワーパークやマサラッキの追撃をしのぎ切ってレコード勝ちを決めた。

2着に敗れたとはいえ、現役最後のレースとなったスプリンターズステークスで見た姿が鮮烈だった。フラワーパークと壮絶なマッチレースを演じ、2頭鼻面を揃えてゴールへ。10分以上も要した長い写真判定を経て、軍配はフラワーパークに上がる。「わずかに1センチ」とされる僅差で栄冠をつかめなかったエイシンワシントンだが、スタートダッシュに成功したフラワーパークに対し負けじとハナを奪いにいった闘志、直線で並びかけられてから再び加速した根性、そして3着以下を5馬身後方に置き去りにした快速ぶりは、この馬の真骨頂。

走るたびに速さを印象づけ、大一番でも期待に応えて自ら流れを作り、ライバルの潜在能力を極限まで引き出してレースを盛り上げる。エイシンワシントンはまさしく名バイプレーヤーと呼ぶにふさわしい存在だった。

1996年★第32回CBC賞(GII) 好スタートから主導権を握ったエイシンワシントン(帽色・赤)がそのまま押し切り、3歳10月のセントウルS以来、約2年2か月ぶりとなる重賞タイトルを獲得。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1993.11.28	中京	3歳新馬	芝1200	1	R1:09.3	溝橋秀吉
12.12	中山	朝日杯3歳S(GI)	芝1600	6	1:36.0	熊沢重文
1994. 1. 5	阪神	若菜賞	芝1400	2	1:24.1	熊沢重文
1.29	阪神	こぶし賞	芝1600	2	1:37.7	熊沢重文
2.13	小倉	萌黄賞	芝1200	1	1:09.8	熊沢重文
2.27	中京	アーリントンC(GIII)	芝1700	2	1:42.9	熊沢重文
9.11	中京	朝日チャレンジC(GIII)	芝2000	5	1:59.1	熊沢重文
10. 2	中京	セントウルS(GIII)	芝1200	1	1:08.7	熊沢重文
10.29	阪神	スワンS(GII)	芝1400	3	1:20.2	熊沢重文
11.27	中京	中京競馬場スタンド増築記念シリウスS	芝1200	1	1:07.9	熊沢重文
12.18	中山	スプリンターズS(GI)	芝1200	4	1:07.9	熊沢重文
1995. 1. 8	京都	洛陽S	芝1600	1	1:33.6	熊沢重文
2.19	京都	淀短距離S	芝1200	1	R1:07.7	熊沢重文
10. 1	京都	セントウルS(GIII)	芝1400	5	1:22.2	熊沢重文
10.14	京都	タ刊フジ杯オパールS	芝1200	5	1:08.2	熊沢重文
10.28	京都	スワンS(GII)	芝1400	8	1:21.0	熊沢重文
11.19	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	10	1:34.5	熊沢重文
12.17	中山	スプリンターズS(GI)	芝1200	9	1:09.3	熊沢重文
1996. 3. 3	阪神	読売マイラーズC(GII)	芝1600	3	1:33.5	熊沢重文
3.23	阪神	陽春S	芝1200	1	1:08.3	熊沢重文
4.28	京都	シルクロードS(GIII)	芝1200	12	1:10.0	熊沢重文
6.16	阪神	阪急杯(GIII)	芝1200	14	1:11.4	熊沢重文
11.17	京都	マイルチャンピオンシップ(GI)	芝1600	3	1:33.9	熊沢重文
11.23	中京	CBC賞(GII)	芝1200	1	R1:07.3	熊沢重文
12.15	中山	スプリンターズS(GI)	芝1200	2	1:08.8	熊沢重文

※レース名は当時の表記による

1996年★第30回スプリンターズS(GI) フラワーパーク(帽色・桃)とエイシンワシントン(帽色・橙)。レースは歴史に残る大接戦となったが、勝利の女神はフラワーパークに微笑んだ。

